

生活基盤施設耐震化等交付金 事前評価結果

計画の名称: 松阪市における老朽管の耐震化推進計画

市町村名: 松阪市

計画の目標: 松阪市の老朽管の更新・耐震化を図ることにより、地震災害時の応急給水量の確保と早期給水復帰を可能とし、赤水・漏水などの減少を見込むことを目標とする

計画の成果目標: 松阪市における管路の耐震化率の向上(H27年度末:16.6% → H32年度末:23.1%)

項 目	チェック欄	評 価
I. 目標の妥当性		
①上位計画等との整合性	○	国)国土強靱化アクションプラン2014においてH34年度基幹管路耐震適合率50%。 市総合計画) H29年度基幹管路耐震適合率32%。 ※本計画では交付金対象管路が基幹管路ではなく配水支管となるため、管路全体の耐震化率を指標とする。
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○	市総合計画)安心・安全な社会環境の整備 本市は南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている。
II 計画の効果・効率性		
①事業計画の目標と定量的指標の整合性	○	更新を行なうすべての管路は耐震管を採用するので指標との整合性はある。
②定量的指標の明瞭性	○	本市が管理する管路の全延長に対する耐震適合管路延長の割合を指標としているので市民にとっても明瞭である。
③目標と事業内容の整合性	○	目標と事業内容は合致している。
④事業の効果の見込みの妥当性	○	当該事業で採用する管種(DIP GX.NS)は、各種試験や過去の地震災害の実績に基づき、レベル2地震動に対して機能保持できることが確認されている。
III. 計画の実現可能性		
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)	○	地域住民に対する説明等これまでも理解を示していただいている。
②地元の機運(当該事業に係る要望等)	○	南海トラフ地震に対する住民の関心は高く、ライフラインの重要性を理解していただく中で当該事業に対する期待は大きい。